

東環協ニュース

発行 ● 東京都環境計量協議会

〒110-0016 東京都台東区台東 1 - 14 - 11
ヒロエンジニアリング(株)内
TEL (03) 5812-4111
FAX (03) 3833-6674
MAIL toukankyo@car.ocn.ne.jp
URL <http://www.toukankyo.org>

○ 2023 年度 技術研修会報告

○ 2024 年 新春賀詞交歓会報告

「新年のご挨拶」

- ・ 東京都環境計量協議会 会長 平賀 積善
- ・ 東京都環境局 環境改善部 部長 戸井崎 正巳 様
- ・ 東京都生活文化スポーツ局 計量検定所 所長 戸澤 互 様

○ 関係機関・団体の動き

- ・ 首都圏環境計量協議会連絡会
- ・ (一社)神奈川県環境計量協議会
- ・ (一社)埼玉県環境計量協議会
- ・ 千葉県環境計量協会
- ・ (一社)日本環境測定分析協会

○ 東環協からのお知らせ

- ・ 2024 年度 主要行事予定
- ・ 事務局からのお知らせ

2023年度 技術研修会報告

『2023年度 技術研修会』は昨年に引き続き会場参加型により開催しました。今回はコロナ禍が明けたこともあり、会員企業 28 社(52 名)、協賛企業 4 社(8 名)、来賓 4 名の計 64 名と昨年を上回る多くの方にご参加いただきました。

日 時 : 2024 年 1 月 24 日(水) 15:30~16:50
場 所 : アルカディア市ヶ谷 5階 「大雪(東)」
講 演 : 「有機フッ素化合物(PFAS)に関する環境省の取組」
講 師 : 環境省 水・大気環境局 環境管理課 環境汚染対策室
室長補佐 甲斐 文祥 様

東環協 平賀会長の開会挨拶



平賀会長

1月1日に能登半島地震が発生しました。まず、お亡くなりになられた方々に心からお悔やみを申し上げます。また、被災された全ての方々にお見舞いを申し上げます。

本日は、講師を務めていただく環境省環境汚染対策室様をはじめ東京都環境改善部様、東京都計量検定所様、日本環境測定分析協会様にはお忙しい中、技術研修会に出席していただき感謝申し上げます。

昨年の技術研修会は会員の中で題材を決め、失敗事例をテーマに講演いただきました。これは、どちらかと言うと過去の出来事について皆様に紹介をしたという内容でした。しかし、この環境計量業界の現状を考えたときに、業界として未来を創造し、語り合えるテーマにしたいと、今回は環境省環境汚染対策室様へお願いした次第です。一つのテーマの数年先の方向性を見極め、環境計量業界の未来が「この様になったらいいよね」「こんなことも出来るよね」と会員同士で新しいカタチや夢を語れる様な最初の一步となることが私の願いです。

皆様、本日はどうぞ宜しくお願い致します。

講演 有機フッ素化合物(PFAS)に関する環境省の取組

環境省 水・大気環境局 環境管理課 環境汚染対策室
室長補佐 甲斐 文祥 様



環境省 甲斐様

今回の技術研修会は「有機フッ素化合物(PFAS)に関する環境省の取組」というテーマでご講演いただきました。

講演は「PFOS・PFOA等の概要」「水環境に関する取組」「更なる対応について」という3つの内容で構成されていました。

まず「PFOS・PFOA等の概要」ではPFOS・PFOAをはじめとしたPFASについて、分類・用途・毒性や法規制の現状を判り易く解説をしていただきました。

次に「水環境に関する取組」では、水質汚濁に係る基準の中での位置付けや、暫定目標値算出の根拠、国内での検出状況の推移についてご説明いただきました。ご説明の中で環境省が実施してきた化学物質環境実態調査の結果から、PFOS・PFOAは経年的な濃度の減少傾向が統計的に有意であったとの解説があり、印象に残りました。加えて「PFOS及びPFOAに関する対応の手引き」の作成、PFOS等の指定物質への追加についての話題もあり、PFOS、PFOAの規制の全容が理解出来る内容でした。

最後に「更なる対応について」では、国内での関心の高まりや海外での議論を踏まえて、環境省では2つの専門家会議を設置し、水質の目標値等の検討を進めていることや今後の対応の方向性やQ&A集の取り纏めを実施したとのお話をさせていただきました。

PFASに関わる規制等の現状や今後の環境省の取り組みについて、聴講者の皆さんの理解が進む大変貴重な講演となりました。皆さんの関心が高いテーマであったため大変多くの質問をいただき、盛況のうちに終了となりました。

貴重なご講演をいただき、ありがとうございました。





会場



受付状況



司会 五十嵐副会長



講演の様子



聴講者の様子



質問風景

2023年度 技術研修会 参加者

2024年1月24日(水)
於 アルカディア市ヶ谷 5階 「大雪(東)」

○ 来 賓 (4名)

東京都環境局環境改善部	環境改善部長	戸井崎 正巳	様
〃	大気保全課長	木立 真敏	様
東京都生活文化スポーツ局計量検定所	所 長	戸澤 互	様
(一社)日本環境測定分析協会	会 長	小野寺 明	様

○ 会 員 (28社 52名)

No.	会 社 名	氏 名	備 考
1	いであ(株)		
2	(株)エオネックス		
3	(株)オオスミ		
4	(株)環境管理センター		
5	(株)環境技研 (板橋)		
6	(株)環境技術研究所		
7	(株)環境総合リサーチ		
8	環境リサーチ(株)		
9	(株)島津テクノリサーチ		
10	新日本環境調査(株)		
11	(株)総合環境分析		
12	ダイヤアクアソリューションズ(株)		
13	(株)デイラボ		
14	(一財)東海技術センター		
15	(株)東京環境測定センター		
16	(株)日新環境調査センター		
17	(株)日本シーシーエル		
18	(株)日本総合科学		
19	日本物理探鉱(株)		
20	(株)日本分析		
21	ヒロエンジニアリング(株)		
22	(一財)広島県環境保健協会		
23	(株)分析センター		
24	ムラタ計測器サービス(株)		
25	ユーロフィン日本環境(株)		
26	(株)島津製作所		
27	三浦工業(株)		
28	日東精工アナリテック(株)		

○ 協賛企業 (4社 8名)

No.	会 社 名	氏 名	備 考
1	ヴェオリア・ジェネッツ(株)		賛助
2	関東化学(株)		賛助
3	ビーエルテック(株)		賛助
4	ラボテック(株)		賛助

(合計 64名)

2024年 新春賀詞交歓会報告

『2024年 新春賀詞交歓会』は、コロナ禍も明けたことから、会員企業 25社(56名)、協賛企業 7社(15名)、来賓 5名と昨年よりも多くの方々にご参加いただき、盛大に開催されました。今回は来賓として、東京都環境局 環境改善部長 戸井崎 正巳 様、同 大気保全課長 木立 真敏 様、東京都生活文化スポーツ局 計量検定所 所長 戸澤 互 様、(一社)日本環境測定分析協会 会長 小野寺 明 様、同 副会長 清水 重雄 様に来賓としてご臨席いただきました。

日 時 : 2024年1月24日(水) 17:00～

場 所 : アルカディア市ヶ谷 4階 「鳳凰」

初めに当協議会の平賀会長より挨拶があり、その後、戸井崎部長、戸澤所長からそれぞれ新年のご挨拶を頂戴いたしました。続いて、小野寺会長より能登半島地震の犠牲者の方々に向けての献杯のご発声で、賀詞交歓会が始まりました。

沢山のご馳走を前に、お酒を酌み交わし、情報交換・名刺交換等が行われ、歓談は大いに盛り上がっていました。途中、2023年12月に新規入会された(一財)広島県環境保健協会の佐藤 均様からのご挨拶や、今回協賛していただいた企業の皆様の紹介がありました。

お酒も入り、程よく場が和んできたところで、皆さんお待ちかねのビンゴ大会が実施されました。景品は食品を中心にお米券を含め人気があるものを揃えておりました。今回はビンゴ大会が復活し、司会の笹嶋理事、織間理事の番号読み上げに一喜一憂するなど大盛況となりました。

楽しく過ごした賀詞交歓会もいよいよお開きの時間となり、近野監事による閉会の挨拶が行われ、お開きとなりました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

会員の皆様におかれましては、今年も良い年になりますことを祈念いたしますと共に、実り多い年となりますよう、役員一同、心よりお祈り申し上げます。

本年もどうぞ宜しくお願いいたします。



『新年挨拶』

東京都環境計量協議会
会長 平賀 積善



平賀会長

1月1日能登半島地震が発生しました。先ずはお亡くなりになられた方々に心からお悔やみを申し上げるとともに、被災された全ての方々にお見舞いを申し上げます。

また、技術研修会に引き続き出席していただいております環境省環境汚染対策室様、東京都環境改善部様、東京都計量検定所様、日本環境測定分析協会様、改めて感謝申し上げます。また、この様に多くの東京都環境計量協議会会員の皆様及び協賛企業の皆様に集まっていただき、感謝申し上げます。

さて、今回の技術研修会は如何だったでしょうか？是非ともこの賀詞交歓会の中で様々な会員様同士で環境計量業界がこうなったらいいよね、こんなこと出来ないかな？等の言葉を発してください。言葉は強い意志を持ち新しい未来を創造する大きな力となると考えています。

また、本日参加していただいている環境省環境汚染対策室様、東京都環境改善部様、東京都計量検定所様、日本環境測定分析協会様、東京都環境計量協議会への要望があればこの会の中で是非とも未来に向けた意見をぶつけてみて下さい。

但し、一つお願いがあります。東京都環境計量協議会への要望は事務局へお願いします。

私は会長に就任して以来、東京都環境計量協議会の会員同士の強みを活かし未来に向けた新しい何かが出来ないか言い続けてきました。この様に大勢の東京都環境計量協議会の会員が集まる機会を利用し、自社の強みと皆様及び環境計量業界の未来を大いに語り合ってください。

本日はどうぞ宜しくお願いします。



『新年挨拶』

東京都環境局環境改善部

環境改善部長 戸井崎 正巳 様



戸井崎部長

ただいまご紹介いただきました東京都環境局 環境改善部長の戸井崎でございます。本日は、東京都環境計量協議会の賀詞交歓会にお招きいただき、誠にありがとうございます。また、日頃より、東京都環境計量協議会の皆様方には東京都の環境行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。年頭に当たりひとことご挨拶を申し上げます。

まず初めに、年初に発生しました能登半島地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

近年、今回のような地震以外に豪雨などによる自然災害も多発しております。貴協議会と東京都は、都内で、こうした災害が発生した際に、倒壊建物からアスベストの飛散を防止するため、2020年に協定を締結し、大気中の石綿を迅速にモニタリングできる体制を整備してきました。また、貴協議会には、区市向けの災害時のアスベスト対策に係る研修にも、毎年、講師として御講義いただくなど、ご協力いただき、感謝申し上げます。

この度の災害を機に、平時における備えの大切さを再認識し、都内の関係自治体や業界団体の皆様との連携を一層推進していきたいと考えているところでございます。

私ども環境改善部では、アスベスト対策のほか、快適な大気環境や良質な土壌・地下水の確保など、都民の健康と安全に直結する生活環境の改善に向けて、様々な事業を展開しております。

こうした施策を着実に進めるには、皆様方の信頼性の高い測定・分析技術が不可欠でございます。東京都環境計量協議会並びに会員の皆様におかれましては、引き続き、東京都の環境行政にご協力を賜りますよう、改めてお願い申し上げます。

結びになりますが、貴協議会及び会員の皆様の益々のご発展とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

『新年挨拶』

東京都生活文化スポーツ局 計量検定所
所長 戸澤 五 様



戸澤所長

只今ご紹介いただきました東京都計量検定所所長の戸澤でございます。日頃より東京都の計量行政に特段のご協力をいただいております。この場をお借りして心から感謝申し上げます。また、東環協様には環境計量証明の分野で多大なご尽力をいただいております。改めて御礼申し上げます。

1月1日に能登半島地震が起き、多数の方が犠牲になりました、ご冥福をお祈り申し上げます。現在も多くの方が厳しい状況の避難所生活を強いられており、心からお見舞い申し上げます。東京都としましては、延べ200名以上の職員が支援に当たっています。食料品や日用品をお届けしたほか、水道、下水道、港湾といった分野の専門家を派遣しております。一刻も早く日常生活を取り戻せることを祈るばかりでございます。

さて、昨年を振り返ってみますと、計量行政の分野でそれほど大きな動きがあったわけではありませんが、特筆すべきものが3点ほどありましたので紹介したいと思います。

一点目は都民計量のひろばの開催でございます。コロナ禍のため暫く開かれていませんでしたが、昨年漸くリアルで開催することができました。東環協様にもご参加いただきましたが、多くの方にお越しいただき、PRする良い機会となりました。

二点目は東京都功労者でございます。昨年は、いであ株式会社会長の田畑様が受賞されました。昨年から功労者の枠を拡大し、東環協様から推薦をいただくようにいたしました。今後毎年1名の推薦枠となりますが、当分の間はこの枠は維持されるものと思います。

三点目は手前味噌になりますが、当計量検定所の業務がテレビで紹介されたことでございます。NHKの「サラメシ」で紹介されたほか、昨年11月には「がちりマンデー」で取り上げられました。ご覧になられた方もいるかと思いますが、一般の方には馴染みの薄い計量業務について紹介することができました。その際、当方が「がちり」のポーズを決めさせてもらいました。見逃し配信ではもう見られないかもしれませんが、何らかの方法で視聴できるかと思っておりますので、是非ご覧いただきたいと思っております。

今年に入りまして、何が流行っているのかと改めて考えてみますと、やはりDXが急速に進展しているという気がします。昨年チャットGPTが話題となりましたが、驚いたのは芥川賞の受賞作品に生成AIが使われていたということでございます。全体の5%は生成AIの文書そのものを引用したとのこと。このような作品が芥川賞を受賞しているのかなという疑問がないわけではありませんが、そのような時代になったということなのかもしれません。他にも生成AIということでは、コンピューターソフトの開発です。最近ではコード生成AIというものができ、自然言語で入力するだけでコードを書いてもらえます。それも精度がかなり高いとのこと。プログラマーの仕事は生成AIが書いたコードにバグがあった場合にそれを修正する。また、セキュリティ上問題があるコードであればそれを修正するというので、いわばAIを超えたレベルの仕事をしなければいけなくなっているということだそうです。

このような時代になりつつありますが、皆さんに直ぐにAIに対応することを求めているわけではありません。自戒の意味を含めて、DXの動向に気を配っていく必要があると感じている次第です。

結びになりますが、皆様の益々のご活躍とご健勝を祈念いたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。



司会 大杉委員



日環協 小野寺会長による献杯



歓談風景



広島県環境保健協会 佐藤理事長の挨拶



ビンゴ大会の様様



近野監事による閉会の挨拶



今回ご協力いただいた協賛企業6社

ヴェオリア・ジェネッツ(株)、高圧ガス工業(株)、関東化学(株)、ビーエルテック(株)、ラボテック東日本(株)、日本コントロールシステム(株)の皆様

2024年 新春賀詞交歓会出席者名簿

2024年1月24日(水)
於 アルカディア市ヶ谷 4階 「鳳凰」

○ 来 賓 (5名)

東京都環境局環境改善部	環境改善部長	戸井崎 正巳	様
〃	大気保全課長	木立 真敏	様
東京都生活文化スポーツ局計量検定所	所 長	戸 澤 互	様
(一社)日本環境測定分析協会	会 長	小野寺 明	様
〃	副 会 長	清水 重雄	様

○ 会 員 (25社 56名)

No.	会 社 名	氏 名	備 考
1	いであ(株)		
2	(株)エオネックス		
3	(株)オオスミ		
4	(株)環境管理センター		
5	(株)環境技研 (板橋)		
6	(株)環境技術研究所		
7	(株)環境総合リサーチ		
8	環境リサーチ(株)		
9	(株)島津テクノリサーチ		
10	新日本環境調査(株)		
11	(株)総合環境分析		
12	帝人エコ・サイエンス(株)		
13	(株)ダイラボ		
14	(一財)東海技術センター		
15	(株)東京環境測定センター		
16	(株)日新環境調査センター		
17	(株)日本シーシーエル		
18	(株)日本総合科学		
19	日本物理探査(株)		
20	(株)日本分析		
21	ヒロエンジニアリング(株)		
22	(一財)広島県環境保健協会		
23	(株)分析センター		
24	ムラタ計測器サービス(株)		
25	ユーロフィン日本環境(株)		

○ 協賛企業 (7社 15名)

No.	会 社 名	氏 名	備 考
1	ヴェオリア・ジェネッツ(株)		賛助
2	関東化学(株)		賛助
3	高圧ガス工業(株)		賛助
4	日本コントロールシステム(株)		賛助
5	ビーエルテック(株)		賛助
6	三浦工業(株)		賛助
7	ラボテック東日本(株)		賛助

○ 環境省随員 (2名)

(合計 78 名)

関係機関・団体の動き

2024年2月現在、既の実施または今後予定されている関係機関及び団体の動きは、以下のとおりです〔東環協ニュース第183号以降分〕。

○ 首都圏環境計量協議会連絡会

- | | | |
|------------------|--------|--------------------|
| ・2023年度第3回委員会 | 12月12日 | スペースマーケット(秋葉原) |
| ・県単合同研修会 | 2月13日 | TKP 東京駅カンファレンスセンター |
| ・首都圏合同・新任者教育セミナー | 6月7日 | 砂防会館 別館 |
| ・2024年度第1回委員会 | 6月28日 | (詳細未定) |

○ (一社)神奈川県環境計量協議会

- | | | |
|-------------|-------|-----------|
| ・2024年度通常総会 | 5月13日 | かながわ労働プラザ |
|-------------|-------|-----------|

○ 千葉県環境計量協会

- | | | |
|-------------|-------|-----------|
| ・2024年度通常総会 | 4月19日 | ホテルプラザ菜の花 |
|-------------|-------|-----------|

○ (一社)埼玉県環境計量協議会

- | | | |
|-------------|-------|----------------|
| ・2024年度通常総会 | 5月24日 | The Mark Hotel |
|-------------|-------|----------------|

○ (一社)日本環境測定分析協会

- | | | |
|---------------|-------|------|
| ・2024年度通常社員総会 | 5月28日 | 霞山会館 |
| ・50周年記念式典・祝賀会 | 〃 | 〃 |

東環協からのお知らせ

○ 2024 年度 主要行事予定

- ・ 2024 年度通常総会 5月8日 アルカディア市ヶ谷

○ 事務局からのお知らせ

- ・ 現在の会員数 (2024 年 2 月現在)

正会員 59 社

賛助会員 19 社 合計 78 社

○ 編集後記

「東環協ニュース(第 184 号)」が完成しましたので皆様にお届けいたします。今回は、本年 1 月に行われました技術研修会、賀詞交歓会を中心に記事を掲載しました。なお、2023 年度の主要行事は、技術研修会、新春賀詞交歓会をもって終了となりました。長く続いたコロナ禍も明け、本年度は対面で皆様にお会いできる行事を数多く開催することができました。会員の皆様のご協力により全ての行事を盛況のうちに開催することができましたことを、この場を借りて心より御礼申し上げます。

なお、本年 5 月には 2024 年度通常総会の開催が予定されています。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

PFAS分析に最適な超純水が 装置から直接採水できます

- 今お使いの超純水装置では PFOS や PFOA が
検出されてしまってブランク水に出来ない
- PFOS/PFOAフリー超純水を購入して
使うのはコストがかかるし、面倒だ

…こんなことでお困りの分析者の方へ

エルガ・ラボウォーターの
PURELAB Chorus 1
Analytical Research なら
そのまま使えます



超純水中のPFOS、PFOA、PFHxSの分析例

PURELAB Chorus 1 水

PFOS	< DL (0.02 ng/L)
PFOA	< DL (0.02 ng/L)
PFHxS	< DL (0.02 ng/L)

試験方法：

PFOS、PFOA：令和2年環水大発第2005281号 / 環水大土発第2005282号
付表1 固相抽出 LC-MS/MS 法

PFHxS：令和2年環水大発第2005281号付表1 準用

エルガ超純水装置は採水口フィルターからの
コンタミの心配がありません



より詳細な情報をご希望の方は下記までお問い合わせください

ヴェオリア・ジェネッツ株式会社 エルガ・ラボウォーター事業部

お問い合わせ 〒108-0022 東京都港区海岸 3-20-20 ヨコソーレインボータワー

e-mail : jp.elga.all.groups@veolia.com <http://www.elgalabwater.com>

LC/MS用溶媒

New

PFOS・PFOAの保証を追加!!

- ／ 金属不純物(13種)を保証*
- ／ 日本薬局方の試薬規格に適合
- ／ 従来の保証内容を踏襲
UHPLCシステムに最適



品目	容量	日本薬局方適合	金属(13種)保証	PFOS・PFOA試験適合性
アセトニトリル	200mL、1L、3L	○	○	○
蒸留水	200mL、1L、3L		○	○
メタノール	200mL、1L、3L	○	○	○
2-プロパノール	200mL、1L、3L	○		

*金属(13種) : Ba, Ca, Cd, Co, Cr, Cu, Fe, K, Mg, Mn, Ni, Pb, Zn

LC/MS 関東

検索



関連商品

認証標準物質 (CRM)

製品番号	メーカーコード	製品名	容量
49922-34	PFAS-3PAR	有機ふっ素化合物混合標準液(3種) (L-PFOS, PFOA, L-PFHxS each 2ug/mL)	1.2mL
49922-35	MPFAS-3ES	有機ふっ素化合物混合内部標準液(3種) (M8PFOS, M8PFOA, M3PFHxS each 2ug/mL)	1.2mL

高圧ガス工業の標準ガス

高圧ガス工業は環境測定のお手伝いに徹し貢献していきます
標準ガスは、様々な用途で使用されています。大気測定から煙筒、排気ガス、医療現場と幅広いユーザー様に支持を受けています

Standard Gas

◆ラインナップ

- ・ JCSS標準ガス 1級、2級、零位
- ・ 一般標準ガス
- ・ 医療機器校正用標準ガス

◆容器 / 充填圧力

- ・ 容器種類：3.4L 10L 47L マンガン容器
- ・ 口 金：W22×14山 右・左
- ・ 充填圧力：14.7 MPa max
- ・ 脱着キャップ、ハンドルバルブ



High Purity Gas

◆ラインナップ

- ・ 高純度アルゴン UP1 99.9999 % UP3 99.999 %
- ・ 高純度窒素 UP1 99.99995 % UP3 99.9995 %
- ・ 高純度水素 UP1 99.99999 % UP2 99.9999 %

◆容器 / 充填圧力

- ・ 容器種類：3.4L 10L 47L マンガン容器
- ・ 口 金：W22×14山 右・左
- ・ 充填圧力：14.7 MPa max
- ・ 脱着キャップ、ハンドルバルブ

Pressure Regulator

◆特長

・理化学機器に特化した、高品位の圧力調整器で、ガスを安定した圧力と流量で供給できるよう設計されています

◆スペック

- ・HP-1：1段減圧 供給圧 0-0.9 MPa
- ・HP-2：2段減圧 供給圧 0-0.9 MPa
- ・Bs/ステンレス製



高圧ガス工業株式会社

ガス開発部 特殊ガス課

<http://www.koatsugas.co.jp>

東京事務所 東京都千代田区内幸町1丁目2番1号 日土地内幸町ビル9階 TEL 03-3595-3122
滋賀高圧ガス流通センター 滋賀県東近江市五個荘川並368番地 TEL 0748-48-5933



お客様各位

平素はエルメックス商品をご愛顧賜り誠にありがとうございます。

ELMEX Post は、微生物検査ご担当者様宛に、弊社商品の発売や仕様変更、セミナー・学会・展示会、その他関連する情報を提供する目的で発信しています。本紙が適切でない部署に配信されている場合は、適切な部署へ転送下さいます様よろしくお願い申し上げます。

◆◆◆ 水質汚濁に係る環境基準が変更されます ◆◆◆

大腸菌群検査から特定酵素基質寒天培地による大腸菌検査へ

環境基本法第16条第1項「水質汚濁に係る環境基準について」の一部改正

令和3年3月の「水質汚濁に係る生活環境の保全に関する環境基準の見直しについて(第2次報告案)」を受け、生活環境項目環境基準において、よりふん便汚染の指標性が高い大腸菌数を新たな衛生微生物指標とし、大腸菌数の測定には特定酵素基質寒天培地による検査法が適当とされました。特定酵素基質 5-プロモ-4-クロロ-3-インドリル-β-D-グルクロニド(X-GLUC)を含む、当社のアガートリコロールが大腸菌数検査に使用できます。

〈検査方法〉

- ①滅菌した密閉できる容器に採水
- ②メンブランフィルターで検水を吸引ろ過
- ③ろ過したメンブランフィルターをアガートリコロール培地に密着させ、倒置し培養
- ④培養後青色のコロニーを数える

〈大腸菌数の環境基準〉(予定)

水道1級	100CFU/100mL
水道2級	300CFU/100mL
水道3級	1000CFU/100mL
水浴(プール等)	300CFU/100mL
自然環境保全 人為的なふん便汚染が極めて少ないと考えられる地点 および自然公園等に指定されている海域の河川・湖沼	20CFU/100mL

環境省から上記命令等の適用は、令和4年4月1日の予定です。

Pro-media *Pro*

トリコロール

大腸菌群・E.coli 同時検査用

ラウリル硫酸 Magenta-GAL・X-GLUC 寒天培地

透明な培地の上に E.coli は青く、大腸菌群は赤く発色。判定が簡単にできます。



〈使用方法〉

1袋(7.85g)を200mLの精製水、または39.3gを1000mLの精製水に加え、加温溶解するか、オートクレーブ滅菌を行う。

(加温溶解した培地は当日中にご使用ください)

品名	Pro-media アガートリコロール(顆粒)	
コードNo.	XMA-01N	XMA-400
入数	7.85g/袋×40	400g/ボトル
価格(税別送料込)	¥17,000	¥21,300

----- カタログ・サンプル 要求書 ----- Fax: 03-3831-9829 -----

送付先をご記入ください		お気軽にお問合せください アガートリコロール <input type="checkbox"/> カタログ希望 <input type="checkbox"/> サンプル希望
御社名	e-mail	
〒 ご住所	都道府県	
ご担当者名	TEL	
ユーザー様名	エルメックス商品仕入れ先(業者名) 東京科研	

高速イオンクロマトグラフ

IC-8100



ION CHROMATOGRAPH

IC-8100

先進のセパレーションテクノロジーを継承、
さらに進化したニューコンセプトIC…
ますますの快適さと信頼性をお届けします。

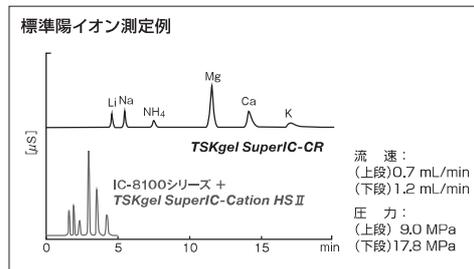
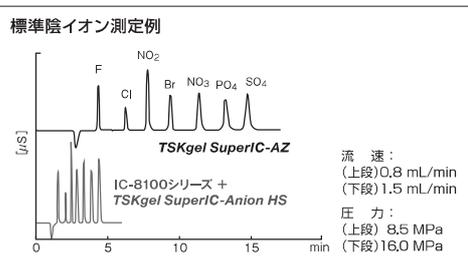
高速多検体

測定時間5分のハイスループット分析を実現

高速分離カラムとの組み合わせで、陰イオン・陽イオンの測定がそれぞれ5分で終了。測定時間を大幅に短縮できます。

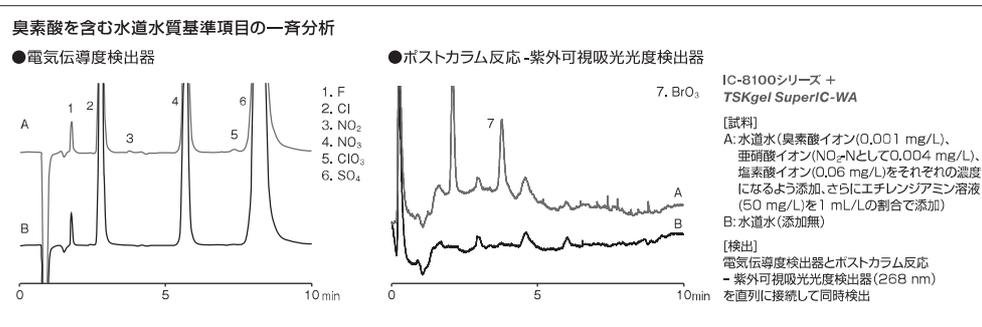
陰イオン測定時間16分から 5分へ短縮(当社比)

陽イオン測定時間20分から 5分へ短縮(当社比)



測定時間10分で臭素酸を含む水道水質基準項目の分析を実現

水道水質分析用の高速高分離カラムと、高感度ポストカラム反応システムを用いる事で、臭素酸を含む水道水質基準項目が10分以内で測定できます。従来、複数の条件で行なわれていた分析を一度の測定で行うことが可能です。



※ "IC-8100" は日本における東ソー株式会社の登録ロゴです。



東ソー株式会社
バイオサイエンス事業部

東京 本社 営業 部 ☎(03)5427-5180 〒105-8623 東京都港区芝3-8-2
大阪 支店 バイオサイエンスG ☎(06)6209-1948 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-4-9
名古屋 支店 バイオサイエンスG ☎(052)211-5730 〒460-0008 名古屋市中区栄1-2-7
福岡 支店 ☎(092)781-0481 〒810-0001 福岡市中央区天神1-13-2
仙台 支店 ☎(022)266-2341 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-11-1
カスタマーサポートセンター ☎(0467)76-5384 〒252-1123 神奈川県綾瀬市早川2743-1
バイオサイエンス事業部ホームページ <https://www.separations.asia.tosohbioscience.com/>

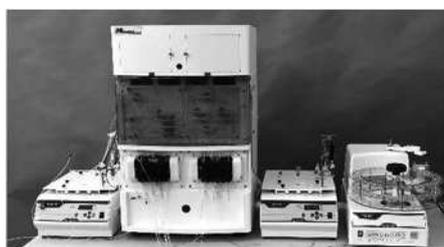
M2108GD.A

ビーエルテックの自動化学分析装置

BLTEC 新型オートアナライザー 「MiSSion」

ふっ素 シアン フェノール類 全窒素 全りん

- 1 新開発の光学系により測定レンジが広がりました。
- 2 原理は、気泡分節型連続流れ分析法 (CFA)で計量証明機関で多くの実績があります。
- 3 ふっ素、シアン、フェノール類の蒸留、発色操作も自動で行えます。
- 4 全窒素全りんのオートクレーブ分解、発色操作も自動で行えます。
- 5 自動洗浄装置装着時、オートスタート機能、自動プラテンリリースできます。
- 6 国内生産です。
- 7 JISK0102、環境省告示対応メソッドです。 1時間20検体測定ができます。



MiSSion-ふっ素シアン



MiSSion-全窒素全りん

全自動酸化分解前処理装置 DEENAシリーズ

特長

1. 試薬を自動で導入できます。
2. 自動で加熱をします。
3. 内部標準も入れられます (オプション)
4. メスアップも自動で行います。



DEENA60
(50mlバイアル 60本掛け)

連続流れ分析法 (CFA法) を用いた、酸添加加熱分解装置AATM (アトム)

特長

1. 液体サンプルは、酸と混合、加熱しICP-MSへそのまま導入され測定されます。
2. 気泡分節のCFA法を利用した装置です。
3. 土壌汚染関連、排水、飲料水など全自動で測定できます。



ビーエルテック株式会社 <http://www.bl-tec.co.jp>

本 社 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-25-7 江戸堀ヤタニビル2F
TEL : 06-6445-2332 FAX : 06-6445-2437

東京本社 〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町14-15 マツモビル4F
TEL:03-5847-0252 FAX : 03-5847-0255

九州支店 〒811-3311 福津市宮司浜1-16-10-101
TEL:0940-52-7770 ※FAXは本社へ

測定精度の向上
人的エラーの解消
前処理時間の短縮
自動化、省力化・・・

全て解決！

メトローム イオンクロマトグラフ



930 IC 本体

+



858 サンプルプロセッサ
+ 800 ドジーノ (電動ビュレット)

+



ろ過デバイス
限外ろ過



透析デバイス
ダイアリシス



中和・除去デバイス
中和 / 金属除去



濃縮・除去デバイス
濃縮 / カラムスイッチング
/ マトリックス除去



940 IC 本体



942 拡張モジュール

メトローム 自動前処理システム Metrohm Inline Sample Preparation (MISP) は、手作業でおこなっていたイオンクロマトグラフのサンプル前処理を完全自動化できます。

MISP は、メトローム開発したイオン分析のための自動前処理手法です。マトリックスの除去、濃縮、希釈、pH 調整、中和等の作業と時間のかかる作業を完全自動化します。前処理工程を改善するとともに、分析精度の向上にも有効です。

イオンクロマトグラフィの原理からトラブルまでご隠居さん達が楽しく解説する大人気コラム「ご隠居達のIC四方山話(よもやまばなし)」。ウェブサイトに掲載中！

IC 四方山話



 **Metrohm**

デモやサンプルテストもお気軽にお問い合わせください。
e-mailでのお問い合わせ: metrohm.jp@metrohm.jp

本社 〒143-0006 東京都大田区平和島6-1-1 東京流通センター アネックス9階 TEL: 03-4571-1744 (IC部) FAX: 03-3766-2080
大阪支店 〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町3-1-9 淡路町ダイビル5階502C TEL: 050-5050-9600 FAX: 06-6232-2312
URL <https://www.metrohm.jp>